

がんばろう 南三陸町 復興第80号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
企画・編集
志津川広報センター

図書館・公民館の複合施設



公的施設最後の復旧事業

震災9年目の平成31年4月25日に、南三陸町生涯学習センター開所式がおこなわれ、町・建設関係者総勢100名を超える出席者の元でオープンを祝った。

平成29・30年度事業で、南三陸町の施設の震災復旧事業がこれで最後となる。総工費が約12億円で、復興交付金が6.7億円で地方債が2.5億円となった。その他にはシンガポール赤十字の寄付金が約4千万円と教育施設復旧補助金3.1億円が含まれている。

南三陸産材(FSC)をふんだんに使い、ぬくもりあふれる複合施設で、全体プロジェクト認証の受賞も町長より伝えられ、町の本庁舎同様の認定を受けた。

佐藤町長の挨拶では、東側に図書館施設があり今後蔵書は10万冊を目標にする。西側には公民館施設を配置し、「コミュニティの再構築に寄与できる施設」と述べた。三浦議長は「共助の意識醸成に、多くの町民が集まり、やすらげる、くつろげる場に」と語った。



遊び心いっぱいの書棚

志津川上の山公園下
ヤマナカ 三浦魚店
オープン!

地場の魚で勝負
ヤマナカ 三浦魚店
TEL 0220-34-8388

南三陸町の小学校1年生に 広島から愛の福袋届く

震災後から南三陸町の明神崎荘さんを拠点として、石巻・気仙沼・高田に支援を続けている。国連 NGO 世界平和女性連合・広島第1連合が、南三陸町の5校の小学校1年生71人に、ノート等の学用品をつめた入学祝いの品を届けてくれた。昨年からの震災後に南三陸町に生まれた小学校1年生への「愛の福袋活動」の第2弾としての活動として始めた。

(受皿支援・千葉印刷)

南三陸町人口の推移

(平成31年1月末現在)

	南三陸町	志津川	戸倉	入谷	歌津
22年3月	17,815	8,294	2,433	1,907	5,181
29年12月	13,210	5,393	1,434	2,023	4,360
31年3月	12,987	5,328	1,427	1,952	4,280
29年12月からの増減数	-223	-65	-7	-71	-80

(2019年2月の新聞記事より)

第89回南三陸福興市の ホタテ・ホヤまつり!



4月28日(日曜日)

福興市の恒例「餅まき」には、子供たちと大人たちが必死に餅や景品を取りあつた。子供たちは一番前で、色々な品々をレジ袋いっぱい拾い、大喜びで参加していた。参加された皆さんは笑顔に包まれた。



「ホヤ詰め放題」のコーナーには行列が出来ていた。子供たちも頑張り、大人も一生懸命に小さなビニール袋に、ホヤを無理矢理押し込んでいた。中ぐらいのホヤながら買えば最低でも1個100円はする。詰め放題は、この時期の目玉として大好評となっている。南三陸町のホヤ産地ならではの、大サービスのコーナーだった。私も先週、町内の魚屋さんで大きい物を買ったが、1個「200円以上」したが、やっぱり美味しい。



(ガラポンコーナー、大当たりの鐘にビックリ!! 予想外のプレゼントに子供が大喜び!!)

未来への教訓

復興! 大津波の記憶を風化させない

平成30年(2018年)

11月の出来事

~ 地元報道より ~

南三陸町

◆東日本大震災で被災した住宅を再建するための融資の申込件数を9月末まででまとめた。住宅再建が落ち着いてきたとみられ、申し込みは年々減少している。16年度は73件でピーク、昨年は22件、本年度は9月末現在で5件という状況である。

◆南三陸町議会(議員16人全員)は上京し、内閣府や復興庁、国土交通省、財務省に対して復興に関する要望書を手渡し、町の復興の現状などを伝えた。

◆秋の叙勲受賞者が発表された。元歌津町議会議員で南三陸町議会議員も務めた阿部 建氏(78)が地方自治功労で旭日双光章、元南三陸町消防団副団長の山内敏裕氏(71)が消防功労で瑞宝単光章を受章する。

◆南三陸町のふるさと納税を寄付した人に対する返礼品を見直し、1日からリニューアル。今回は好みの返礼品を選べるカタログ形式に変更。

◆3日、南三陸町功労者表彰式・感謝状贈呈式が南三陸プラザで行なわれた。各分野で長年町の発展に尽力してきた11人を表彰、東日本大震災からの復興に貢献した2個人・1団体に感謝

状を贈り功績をたたえた。

◆ギンザケ養殖が盛んな南三陸町戸倉地区で、稚魚の搬入が始まった。約半年間志津川湾内のいけすで餌を食べて、脂の乗った魚体に育つ。稚魚の搬入量は2014年に震災前の120トンまで回復していて、今季の搬入も同量を運び入れる。

◆「南三陸町 de 芋煮会 2018」が4日、南三陸町ハマレ歌津で開かれた。「南三陸海しょくにん」が芋煮などを振る舞った。地元食材を使った芋煮は、500食分を無料で配布した。

◆南三陸町役場の交流スペース・マチドマで、ラムサル条約に登録された志津川湾を紹介する企画展が、28日まで開かれている。映像コーナー、町ネイチャーセンター準備室、ラムサル条約の内容を伝える資料もある。

◆志津川高校の前校長山内松吾さん(62)が、古里南三陸町の小学生にボランティアで英語を教えている。今年7月に南三陸ジュニア・アカデミーを立ち上げ、南三陸町の小学5・6年生を対象に土曜日・日曜日に月3回開講している。今年3月志津川高校の校長を最後に退職、現在は気仙沼高校で英語の非常勤講師を務めている。

◆東京のNPO法人「音楽で日本の笑顔を」と南三陸町による被災地応援無料コンサートが10日、ベイサイドアリーナ文化交流ホールで開かれる。ソプラノ歌手の安田祥子さんをナビゲーターに、ピアニストやソプラノ歌手など地元コーラスグループも参加する。

◆「秋の火災予防運動」が9日から15日まで全国一斉に始まった。南三陸町では9日、南三陸消防署をはじめ町消防団、町婦人防火クラブ連合会などから約100人が参加して、町役場交流

スペース・マチドマで出発式が行われた。

◆南三陸町の田東山山頂に通じる「行者の道」は11日で、今季の利用期間を終了する。区間内の木橋補修に伴うもので、本格的な降雪を前に補修工事を予定しているため、終了を前倒しする。

◆南三陸町総合体育館「ベイサイドアリーナ」で10日、南三陸町少年少女ビニールバレーボール大会が開かれた。今回は5小学校から20チームが参加した。

◆11日町役場周辺を主会場に、南三陸町総合防災訓練が行なわれた。自衛隊の大規模災害訓練「みちのくアラート」とも連動して行われた。南三陸病院に運び込まれたケガ人や病人の具合に応じて優先度をつけるトリアージ訓練、消火訓練なども実施された。

◆南三陸町志津川の八幡川に架かる「志中大橋」が完成し、13日までに供用を開始。東日本大震災前からあった橋を架け替える形で整備され、高台に完成した住宅団地をつなぐ連絡道路の一部となる。

◆南三陸町は14日、不適正事務に関し、担当していた元職員に対し損害賠償を求めた考えを明らかにした。弁護士と相談しながら詳細を検討している。

◆徳島県徳島市で、アニメイベントを開催しているNPO法人「マチ★アソビ」(徳島市)から16日、南三陸町に移動図書館が贈られた。来年1月から運行する。

◆南三陸町環境審議会が町役場で15日開かれ、家庭ごみの有料化導入について審議した。反対意見は出なかった。